

# 参考

## I 八王子市環境審議会委員名簿

役職	氏名	分野	所属
	荒井 康裕	学識者	東京都立大学 准教授
	櫻井 達也	学識者	明星大学 教授
	中島 裕輔	学識者	工学院大学 教授
副会長	西川 可穂子	学識者	中央大学 教授
会長	沼田 真也	学識者	東京都立大学 教授
	藤原 祥子	学識者	東京薬科大学 教授
	山口 隆子	学識者	法政大学 教授
	大竹 邦江	市民	環境カウンセラー 八王子市地球温暖化防止活動推進員
	榊 啓子	市民	NPO フュージョン長池 理事
	西山 茂	市民	八王子市町会自治会連合会 常任理事
	岡村 優子	事業者	東京ガスネットワーク(株) 東京西支店 支店長 八王子商工会議所 議員
	上村 邦彦	事業者	東京都資源回収事業協同組合 八王子支部 支部長
	前村 久美子	事業者	アライアンス社会保険労務士法人 代表 八王子商工会議所 議員
	戸辺 清文	行政	東京都地球温暖化防止活動推進センター 副センター長
	前田 憲一	行政	東京都環境局多摩環境事務所 廃棄物対策課長

## 2 八王子市環境審議会答申

---

令和5年(2023年)7月7日

八王子市長 石森 孝志 殿

八王子市環境審議会  
会長 沼田 真也

### 八王子市ごみ処理基本計画の改定について(答申)

令和5年(2023年)1月20日付4八資ご発第164号により諮問のありましたこのことについて、下記のとおり答申します。

#### 記

八王子市ごみ処理基本計画の改定について審議した結果、本計画素案の内容は概ね妥当と認めます。計画実施にあたっては、別紙意見書に述べた内容について十分に配慮してください。

なお、本市のごみの減量・資源化施策は常に先進的なものと理解しています。環境省が公表する人口50万人以上の都市の中で「1人1日あたりの総排出量の少なさ」は全国1位、「リサイクル率」は全国2位(共に令和3年度(2021年度)実績)となるなど、毎年上位に入っており、大きな成果を挙げています。

本計画では、前計画で掲げた基本理念を継承しつつ、3つの重点プロジェクトを設定することで、更なるごみの減量・資源化を効果的・効率的に進めることとしております。各施策を着実に推進するためには、市民・事業者の理解と協力は不可欠であるため、本計画について広く市民・事業者にも周知し、それぞれの役割が十分に発揮できるよう進めてください。

## 意見書

諮問書で提示されたごみ処理基本計画の改定について、次のとおり意見を付します。

1. 基本理念で掲げる『循環型都市八王子』の実現を達成するには、市民・事業者及び市の三者が共創した取組が重要である。市は積極的な周知・啓発を行い、市民や事業者が取り組みやすい仕組みを構築し、市民や事業者それぞれが自分の役割を理解し、取組に参加できるよう、ごみゼロ社会推進協議会をはじめ、各種団体との活発な意見交換の機会を拡充させて、良好な信頼関係を維持しながら事業を進めること。
2. 国や都が策定する計画や上位計画である「八王子未来デザイン 2040」や「八王子市環境基本計画」など、関連計画の内容や掲げられた目標値との整合を図り、目標達成のための施策を一体的に進めること。
3. 家庭系ごみは他自治体と比較すると未だに多く、前計画から継続した課題である。家庭系ごみの減量に向けては、市民一人ひとりの協力が不可欠であることから、館クリーンセンターの活用をはじめとした環境教育の充実や、様々な媒体を活用した情報発信を行うなど、行動変容を促すための啓発を行うこと。また、各地域の特徴に合わせたきめ細やかな取組が行えるよう、ミクロな視点での調査・分析も行うこと。
4. 食品ロスは、生産から流通、消費、廃棄に至る各課程で様々な環境負荷を生じている。食品ロスを削減するための環境整備や、市民・事業者によるライフスタイルや商習慣の見直しを促すなど、サーキュラーエコノミーの推進に向けた取組を積極的に実施すること。
5. プラスチックは非常に便利な素材である反面、焼却時の CO<sub>2</sub>排出量の増大や、不適正な処理による生態系への悪影響を及ぼす。プラスチックの発生抑制や資源が循環する仕組みを構築するため、収集・処理に係る市民の費用負担のあり方も含めて幅広く検討を行うこと。
6. ゼロカーボンシティの実現に向け、ごみ収集・処理の効率化、焼却量の削減など、効果的な取組を推進し、廃棄物分野でも 2050 年 CO<sub>2</sub>実質排出量ゼロを目指して、2030 年度までに 2013 年度比 46%削減を達成すること。また、CO<sub>2</sub>分離・回収をはじめとした最新技術の調査・研究を行っていくこと。
7. 今後、既存施設の整備・更新や、清掃工場の広域化・集約化など、大型プロジェクトが控えているが、市の財政負担も踏まえたうえで、民間の活用や誘致も視野に入れながら、より効果的・効率的な整備を関係機関とも連携し計画的に実施すること。また、ごみ問題のみならず、地球温暖化対策等を含めた広い意味での環境学習拠点、情報発信拠点としての整備も合わせて検討すること。

# 用語集

## アルファベット・数字

### AI

人工知能（Artificial Intelligence：AI）は、人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステムのことです。具体的には、人間の使う自然言語を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするコンピュータプログラム等のことを指します。

廃棄物処理施設においては、焼却施設におけるごみクレーン操作及び燃焼制御等の作業の自動化や、破砕選別施設における破砕物の高精度選別等に活用されています。

### CCU/CCUS

CO<sub>2</sub>の回収・有効利用（Carbon dioxide Capture and Utilization：CCU）は、発電所や化学工場等から排出された排ガス中のCO<sub>2</sub>を分離して回収し、資源として有効利用することです。また、CO<sub>2</sub>の回収・有効利用・貯留（Carbon dioxide Capture, Utilization or Storage：CCUS）は、回収したCO<sub>2</sub>を有効利用または地下に貯留することです。CCUやCCUSによるCO<sub>2</sub>の大幅な削減や炭素の循環利用で、カーボンニュートラルに寄与することが期待されています。

廃棄物処理施設においては、焼却施設から排出されるCO<sub>2</sub>を分離・回収し、農業等へ利用する直接利用や、CO<sub>2</sub>をメタンやメタノール、エタノール等に変換する間接利用について、様々な実証実験が進められています。

### DX（デジタル・トランスフォーメーション）

デジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でもより良い方向に変化させることです。単に技術やツールを導入するデジタル化と異なり、「DX」はデジタル化を通じて、ビジネスモデル、プロセス、組織文化等の変革を行う等、新しい価値を創造したり、競争力を高めたりするものとなります。

### IT

情報技術（Information Technology：IT）は、パソコン等の情報機器や、インターネット、通信インフラ等と組み合わせて活用していくための技術の総称です。

### PDCA サイクル

Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の4つのプロセスを繰り返し行うことで、業務の品質や効率を向上させる手法です。

### Renewable（リニューアブル）

リデュース・リユース・リサイクルの3Rに並べられるRenewable（再生可能資源への代替）とは、従来枯渇性資源を用いていたものについて、再生可能な資源を代替して用いることです。

プラスチックの原料に、枯渇性資源である石油ではなく、再生可能なバイオマスプラスチック等を用いることがこれに当たり、3R+Renewableは「プラスチック資源循環法」の基本原則になっています。

### VFM（バリュー・フォー・マネー）

支払いに対して最も価値の高いサービスを提供するという考え方です。一定の価値のサービスに対して、支払額が少ないとVFMがあり（優れており）、支払額が多いとVFMがない（劣っている）と言えます。

廃棄物処理施設の整備・運営において民間事業者と連携する手法を検討する場合には、公設公営方式（自治体が整備・運営する場合）と比較したVFMの有無を確認することが重要となります。

### 1人1日あたりの総排出量

市民1人が1日にどのくらいのごみを発生させているかの指標で、総排出量＝〔家庭系ごみ＋事業系ごみ＋資源物＋資源集団回収等〕÷本市の人口÷365日（うるう年は366日）で算出します。

### 1/3（さんぶんのいち）ルール

食品の流通過程において、製造者、販売者、消費者

の3者が、製造日から賞味期限までの期間を3分の1ずつ均等に分け合うという考え方に基づく商習慣です。

製造日から賞味期限までの期間の最初の3分の1が納品期限、次の3分の1が販売期限とされ、その期限を過ぎてしまうと、賞味期限までの期間は残されているにも関わらず返品となり、廃棄される可能性があります。

### 30・10（さんまる・いちまる）運動

宴会時に、乾杯からの30分間とお開き前の10分間は自分の席で料理を楽しみ、食べ残しを減らす運動です。

## あ行

### アスベスト

石綿（せきめん、いしわた）ともいい、繊維状の鉱物で、従来は建物の保温断熱材等として用いられていました。繊維が極めて細かいため、使用や解体にあたり飛散しやすく、人が吸入した場合に肺がん等を引き起こす可能性があることから、現在では原則として製造や使用が禁止されています。また、解体にあっても、所定の対策を講じる必要があります。

### 一般廃棄物

廃棄物のうち、産業廃棄物以外の廃棄物です。

一般家庭から排出される廃棄物と、事業所から排出される産業廃棄物以外の廃棄物がこれにあたります。

### エコセメント

ごみの焼却灰を、石灰石など従来のセメント原料と混ぜて作ったセメントです。1,300℃以上という高温で焼成されるため、焼却灰に含まれるダイオキシン類等の有害物質は分解されて無害になり、安全性も確保できます。これまで最終処分場に廃棄されていた焼却灰をリサイクルできるため、ひっ迫する最終処分場問題を解決する処理方法として注目されています。

エコセメントは土木建築資材等として使われています。

### エコひろば

北野環境学習センター（あったかホール）内にある

「八王子市環境学習室」の愛称です。市民・事業者の皆様が環境について関心を持つきっかけづくりと、環境保全を行う団体等が地域に根差した環境保全活動を展開できるように、情報や活動の支援を行える場として、平成17年（2005年）1月に開設しました。

### 延命化工事

廃棄物処理施設を構成する主要な設備のうち、老朽化・劣化したものを更新・修繕し、廃棄物処理施設の長寿命化を図る工事のことです。延命化工事を行うことにより、施設のライフサイクルコストを低減することができますと言われています。

### 温室効果ガス

太陽光の熱を蓄え、地表の温度を一定に保つ働きを持つ気体のことです。温室効果ガスにはCO<sub>2</sub>やメタン、一酸化二窒素、フロン類等がありますが、CO<sub>2</sub>の排出量が圧倒的に多くなっています。

産業革命以降、人類が排出する温室効果ガスの量が急増し、必要以上に太陽光の熱を蓄えることにより、地球温暖化の一因となっています。

## か行

### カーボンニュートラル

CO<sub>2</sub>の回収量（植物への吸収量等）と排出量を等しくすることで、合計を「実質ゼロ」にする状態のことです。

### 家電リサイクル法

「特定家庭用機器再商品化法」のことを指します。一般家庭や事務所から排出された家庭用電化製品（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）から、有用な部分や材料をリサイクルし、廃棄物を減量するとともに、資源の有効利用を推進しようとするものです。

### 完食応援店

「八王子市完食応援店」制度に登録している店舗のことで、小盛対応・小盛メニューの導入や、一人前の総菜の販売、賞味期間近による値引き販売等を実施しています。

## 強靱化（きょうじんか）

災害や事故など困難な事態に遭遇した際に、致命的な被害を負わない「強さ」と、速やかに回復・復元する「しなやかさ」を持つことを指します。

国が定める「廃棄物処理施設整備計画」においては、人口減少・少子高齢化や大規模災害等への備えとして、廃棄物処理施設の長寿命化・延命化や広域化・集約化、適切な更新・改良等により、地域単位で一般廃棄物処理システムを強靱化することが謳われています。

## グリーン購入法

「国等による環境物品等の調達に関する法律」のことを指します。国や地方公共団体等が率先した環境負荷の少ない製品やサービス等の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を行い、環境物品への需要の転換を図ろうとするものです。

## ケミカルリサイクル

使用済みの資源を化学的に分解し、原料に変えてリサイクルする方法です。プラスチックごみを分解して石油やガス等に戻す取組等があります。

## 現在価値換算

想定される将来の費用を、金利上昇分等を割引率として割り戻し、現在の価値に換算することです。

例えば今後 10 年間のインフレ率が 10% だった場合、現在の 10 億円は 10 年後には 11 億円の価値があることとなります。同様に、10 年後の 10 億円は現在においては約 9.1 億円の価値となります。

廃棄物処理施設の整備・運営事業の経済性を評価する際には、想定される事業費を現在価値換算した値で VFM を算出します。

## 建設リサイクル法

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」のことを指します。コンクリートをはじめ、アスファルトや木材など特定資材を用いる建築物を解体する際に廃棄物を現場で分別し、資材ごとに再利用することを解体業者に義務付けています。

## 小型家電リサイクル法

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」のことを指します。携帯電話やゲーム機等の使用済み小型電子機器等に利用されている希少な金属等の再資源化を促進する法律です。廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用の確保と生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与することを目的として制定されました。

## ごみゼロ社会推進協議会

ごみの減量や資源化施策を着実に実施するためには、市民・事業者・市がそれぞれの立場・役割から協議・検討し、目標や課題の共有化を図りながら主体的に実践していく必要があります。

このため、市民及び事業者とともに一般廃棄物の減量及び再利用の促進並びに適正な処理等に関する市の施策を具現化し、推進するために平成 18 年（2006 年）12 月に「八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」に基づき設置した協議会です。

本協議会は町会・自治会の代表、一般廃棄物の適正な処理や減量及び再利用の促進に熱意と識見を有する方、高齢者団体の代表、学生の代表、事業者の代表、集団回収の代表、消費者団体の代表、再生資源取扱業者の代表及び宅地建物取引業者の代表等の、合計 14 人から構成されています。

本協議会の内容は原則として公開しており、傍聴することもできます。

## さ行

### サーキュラーエコノミー

これまで廃棄されていた製品や原材料等を「資源」と考え、全てリユース・リサイクル等で活用し、資源を循環させる経済システムです。この循環により、環境負荷を抑制しながら、付加価値を生み出すことで経済を発展させることを目指しています。

### 災害廃棄物

震災や水害等の災害により発生する廃棄物です。

### 再商品化

ごみを製品の原材料等にリサイクルすることです。

なお、容器包装リサイクル法では、市町村が分別収集した容器包装ごみを、メーカーが製品の原材料にリサイクルすることを指します。

### 在宅医療廃棄物

医師の指示のもと、家庭において医療措置を行うことにより排出される医療廃棄物（ストマパックや使用済みの注射針等）です。

### サブスクリプション

ユーザーが、モノやサービスそのものではなく、それらを一定期間利用する権利を購入するサービスで、いわゆる「定額制」のサービスを指します。

音楽や動画、ゲーム等のコンテンツや、アプリ等のソフトウェア、通い放題のジムやスクール等、身の回りの様々なものがサブスクリプションサービスとなっています。

### 産業廃棄物

廃棄物処理法では、廃棄物とは、ごみ、粗大ごみ、燃え殻、汚泥等の汚物又は不要な物であって、固形状又は液状のものとされています。このうち、事業活動に伴って生じた廃棄物で燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類やその他政令で定める廃棄物のことを産業廃棄物といいます。

### シェアリング

シェアリング会社や個人のモノ等を、インターネットを通じて複数のユーザーで共有するサービスです。

例としては次のようなものがあり、形のないものも対象となります。

モノ：ブランド品のレンタルサービス

空間：民泊やシェアハウス、駐車場シェアリング

移動：カーシェアやシェアサイクル

スキル：家事・育児代行やクラウドソーシング

### 資源集団回収

本市内に居住する住民団体等が、団体ごとに資源物を集め、自ら民間業者に委託し回収する方法です。回収した実績により市が助成しています。

### 資源有効利用促進法

「資源の有効な利用の促進に関する法律」のことを指します。自動車やパソコン等 14 種類の製品について、使用済み部品を新製品に組み込んで再使用することや、余計な部品を使わない省資源化設計の採用をメーカーに義務付けています。

### 自動車リサイクル法

「使用済自動車の再資源化等に関する法律」のことを指します。使用済自動車（廃車）から出る有用資源をリサイクルして、環境問題への対応を図るものです。

### 循環型社会

「循環型社会形成推進基本法」において、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わるものとして提示された概念です。具体的には、第一に製品等が廃棄物となることを抑制し、第二に排出された廃棄物についてはできるだけ資源として適正に利用し、最後にどうしても利用できないものは適正な処分を徹底することにより実現される「天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会」としています。

### 循環型社会形成推進基本法

資源消費や環境負荷の少ない「循環型社会」の構築を促すことを目的として、平成 12 年（2000 年）に制定され、廃棄物処理やリサイクルを総合的・計画的に推進するための基本方針を定めた法律です。

### 消費期限

安全に食べることができる期限のことです。お弁当、サンドイッチ、生麺、ケーキ等、傷みやすい食品に表示されています。

### 賞味期限

美味しく食べることができる期限のことです。スナック菓子、カップ麺、缶詰、ペットボトル飲料等、品質の劣化が進みにくい商品に表示されています。この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。

## 食品リサイクル法

「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」のことを指します。食品の製造や販売業者、レストランなど食品関連産業から排出される食べ残しや製造の際に発生する残渣等の食品廃棄物について、飼料や肥料等の再資源化を義務付けています。

## 食品ロス

食品ロスには、食べ切れずに残してしまう「食べ残し」、未開封の食品が食べられずに捨てられている「直接廃棄」、野菜の皮を厚くむき過ぎる等、食べられる部分が捨てられている「過剰除去」等が含まれます。

## 食品ロス削減推進法

「食品ロスの削減の推進に関する法律」のことを指します。食品ロスに関して国や地方公共団体等の責任を明らかにし、国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携して食品ロスの削減を総合的に推進することを目的として令和元年（2019年）10月1日に制定されました。

## 食品ロスチェックシート

いつ、何が、どのくらい、どんな理由で食品ロスとってしまったかを記録するものです。あらためて自分の生活を振り返り、食品ロスを削減するために行動するきっかけとなります。消費者庁のホームページ等から入手することができます。

## 水平リサイクル

使用済み製品を原料として用いて、再び同じ種類の製品を製造するリサイクルのことです。例えば、回収したペットボトルから新しいペットボトルを作る、ボトル to ボトルがこれに当たります。

## スケールメリット

スケール（規模）が大きくなることで、事業や経済活動において、有利、優位、円滑になる等のメリットを指します。


## 清掃指導員

「八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」に基づき、主に清掃事業所等に配置されている

指導員です。

市民及び事業者に対するごみや資源物の分別・啓発指導、不法投棄の確認・調査、集合住宅ごみ集積所の事前協議、ごみ収集・運搬・処分の指導、出前講座の講師等も行っています。

## 製品プラスチック

容器包装プラスチックやペットボトル以外の、マークのないプラスチック製品です。CD やビデオテープ、おもちゃや文房具など様々なものが製品プラスチックで作られています。

## 性能発注方式

必要な施設の性能要件や業務水準のみを提示して、設計に関する詳細な手段や方法は問わずに、民間事業者の裁量の下でその性能・水準を満たす施設を整備させる方式です。

従来は施設の配置・構造・建築材料等、業務に関わる詳細な要件を民間事業者に提示して発注する、仕様発注方式が多く採用されていました。しかし、民間事業者の創意工夫を反映させ、経済的・効率的な施設整備を実現することを目的として、近年では性能発注方式の採用が増えてきています。

## ゼロエミッション

廃棄物のゼロエミッションとは、廃棄物の排出をゼロにする（排出しない）システムのことです。生産段階の廃棄物発生量を減らしたり、発生した廃棄物を徹底的に有効活用（リサイクル等）したりすることにより、埋立処分量をゼロにすることを目指します。

東京都が「ゼロエミッション東京戦略」で目指しているのは、CO<sub>2</sub>のゼロエミッションになります。CO<sub>2</sub>のゼロエミッションとは、CO<sub>2</sub>の排出をゼロにする（排出しない）システムのことです。

## ゼロカーボンシティ宣言

「ゼロカーボン」とはCO<sub>2</sub>の排出量を実質ゼロにすることで、自治体が、首長の会見や各自自治体のホームページ等で「2050年までにゼロカーボンを目指す」と表明することを「ゼロカーボンシティ宣言」と言い



ます。

## た行

### ダイオキシン類

モノを焼却した際に発生しやすい3種類の有機塩素化合物の総称です。ダイオキシン類には発がん性があるとされています。

焼却施設においては次のような対策を講じています。

- ・ 燃焼温度を約 800℃以上にし完全燃焼させることで、ダイオキシン類の発生を抑制する
- ・ 焼却炉出口の排ガス温度を 200℃以下まで下げ、ダイオキシン類の再合成を防止する
- ・ 排ガス処理設備により、ばい塵やダイオキシン類を除去する

### 大規模事業者

本市においては、事業所の延床面積が 3,000m<sup>2</sup> 以上、もしくは事業系一般廃棄物の排出量が年間 20 トン以上の、いずれかの条件に該当する事業者のことで。大規模事業者は、「八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」により、「廃棄物の減量及び再利用に関する計画書」等、廃棄物に関する届出を提出する義務があります。

### 脱炭素化

地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub> を含む温室効果ガスの排出量をゼロにすることです。

以前は CO<sub>2</sub> 排出量の削減を目指す「低炭素化」が目標とされていましたが、地球温暖化が加速したことで、より高いレベルで CO<sub>2</sub> 排出量の削減を目指す脱炭素化が謳われるようになりました。

なお、近い意味を持つカーボンニュートラルは、CO<sub>2</sub> は排出するものの、排出量と吸収量を等しくすることにより実質ゼロを目指すものです。

### ダンボールコンポスト

ダンボール箱に入れた基材に生ごみを入れてかき混ぜ、微生物の力で分解し、たい肥に変える生ごみ処理器の一つです。

本市では、家庭でたい肥が不要な場合は市で引き取

り、市内の花壇等で活用しています。

### 地域循環共生圏

各地域がその特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて近隣地域等と地域資源を補完し支え合うという考え方です。

### 地球温暖化対策推進法

「地球温暖化対策の推進に関する法律」のことを指します。地球温暖化対策の推進や、現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保等を目的として制定されました。

また、令和 32 年（2050 年）までの脱炭素社会の実現を基本理念に掲げています。

### 中間処理後資源化

ごみを焼却や破碎・圧縮等の中間処理をした後に資源化を行う（資源化業者に引き渡す）ことです。

本市では、焼却施設からの焼却灰や鉄・アルミ、不燃物処理施設からの磁性物やアルミ、資源化施設からのペットボトルや容器包装プラスチック、缶、びん等が含まれます。

### 中継施設

収集したごみを一度集め、圧縮して大型コンテナ等に積み替えて処理施設まで運搬するための施設です。

ごみ処理の広域化等によりごみの収集運搬の範囲が広範囲にわたる際に中継施設を設置することで、収集運搬の効率化を図ることができます。

### 直接資源化

ごみ（資源物）に焼却や破碎・圧縮等の処理を行わず、そのままの状態から資源化する（資源化業者に引き渡す）ことです。

本市では、資源化施設からの古紙、古着・古布、木の枝、上履き・靴等が含まれます。

### 出前講座

「はちおうじ出前講座」は市民の生涯学習活動を支援することを目的とし、学習会等に、市や官公署・企業等の職員が講師として伺い、担当する事業等につい

て講義や説明をするものです。

### てまえどり

購入してすぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品等、賞味期限・消費期限の迫った商品から購入することです。

### 店頭回収

食品トレイやペットボトル等を、スーパーマーケット等の店頭で置かれた回収箱に消費者が持ち込み、事業者が資源回収を行うことです。

## な行

### ナッジ

英語で「軽くつつく、行動をそっと後押しする」という意味の言葉であり、罰則やインセンティブ等で行動を制限したり限定したりせずに、無意識下に働きかけることで、人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする行動科学の手法です。

### 生ごみリサイクルリーダー

生ごみリサイクルの普及に関し、熱意や見識があり、地域での生ごみ資源化の取組に積極的な市民の方を、「八王子市生ごみリサイクルリーダー」として市が認定しています。

### 日曜日は冷蔵庫のお片付け

週に一度、冷蔵庫の中の傷みややすい食材や使い忘れの食材、賞味期限・消費期限が近い食材等を確認し、食べ切る行動です。

### 熱回収

廃棄物を焼却する際に発生する熱エネルギーを回収することです。回収したエネルギーは、発電に利用したり、温水の熱源等、有効に活用されています。

## は行

### バイオマスプラスチック

再生可能なバイオマス資源を原料に作られたプラスチックです。

バイオマス資源は生成する過程で CO<sub>2</sub> を吸収する

ことから、バイオマスプラスチックを焼却処理した場合でも、大気中の CO<sub>2</sub> の量には影響を与えない、カーボンニュートラルであるとされています。

### 廃棄物処理法

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」のことを指します。廃棄物の排出の抑制、廃棄物の適正な分別、保管、収集、再生、処分等の処理及び生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的としています。

### パルプ

木材や草等から抽出した繊維です。紙おむつには吸水材の一つとしてパルプが使用されており、紙おむつを構成する素材の約 3 割から 5 割をパルプが占めています。

### フードシェアリングサービス (タベスケ Hachioji)

本市内のお店が、賞味期限・消費期限が近付いた商品や規格外野菜、箱が潰れてしまった商品、急なキャンセルにより余ってしまった商品等、廃棄になりそうな商品をウェブサイトにて割引価格で出品し、消費者が購入予約するマッチングサービスです。

### フードドライブ

家庭で余っている食品を集め、必要としている個人や団体（フードバンク団体等）へ寄付する活動です。

本市では、未開封で常温保存できるものや、賞味期限が2ヶ月以上あるものを集めています。

### フードバンク

企業や農家で本来なら廃棄されてしまう食品を集め、必要としている個人や団体（子ども食堂等）へ届ける活動です。

### 不用品回収業者

一般家庭や事業者等を対象に、不用品を回収する業者です。回収対象は家電製品や家具、生活用品、事務用品等です。

市区町村の「一般廃棄物処理業」の許可なく、または市区町村の委託を受けずに回収している業者に廃棄

物の処分を依頼した場合、法を守った適正な処理が確認できないことから、市民が違法な不用品回収業者を利用しないための対策が必要となります。

### プラスチック資源循環法

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」のことを指します。プラスチック製品の設計から販売、廃棄物の処理までのライフサイクル全体で、事業者、地方公共団体、消費者が連携しながらプラスチック資源の循環等の取組を推進することを目的として策定されました。これまで資源化していた容器包装プラスチックに加え、製品プラスチックも資源化することが、市町村や事業者に求められています。

### フロン

「ゼロエミッション東京戦略」が対象としている「フロン」とは、フルオロカーボン（フッ素と炭素等の化合物）の総称です（広義では、臭素を含むハロンも含まれる場合があります）。従来は、冷蔵庫等の冷媒や半導体等の精密な部品の洗浄剤、ウレタンフォーム等の発泡剤、スプレーの噴射剤等として幅広く利用されてきました。

しかし、塩素を含むフロンは成層圏でオゾンと化学反応し、オゾン層を破壊することが明らかとなりました。オゾン層が破壊されると地上に到達する有害な紫外線が増加し、皮膚がんや白内障の原因となります。

さらに、オゾン層を破壊しないフロンであっても、CO<sub>2</sub>の数十倍から一万倍以上の大きな温室効果を持つものがあります。

そのため、ウィーン条約やモントリオール議定書、京都議定書等により、塩素を含むフロンの全廃や温室効果のあるフロンの排出抑制が進められています。

### ペーパーレス

従来、紙媒体で活用していた情報を電子化することで、紙を使用しないようにすることです。新聞や書籍がスマートフォンやタブレット端末で購読できる等、身近なものも電子化が進んでいます。

### ペレット

粒状の形をした合成樹脂（プラスチック）です。紙

おむつ等を処理したあとの生成品を粒状（ペレット状）に加工することによって、燃料等として使用することができます。

## ま行

### マテリアルリサイクル

回収した資源ごみ等を原料にして新しいものを作り出し、再利用する方法です。プラスチックごみを高温で溶かして原料に戻し、プラスチック製品に再生する手法等があります。


### メタネーション

水素とCO<sub>2</sub>を原料としてメタンを合成する技術です。

発電所や工場から排出されるCO<sub>2</sub>を回収してメタンを合成することで、その合成メタンを利用した際のCO<sub>2</sub>排出量が相殺されることから、カーボンニュートラルに貢献できます。

## や行

### 容器包装プラスチック

マークが付いており、中に商品が入っていたプラスチック製の容器や包装で、その商品を消費したり取り出したりした際に不要になるものです。レジ袋や商品を包むフィルム、ボトル容器や発泡スチロール製容器等があります。

### 容器包装リサイクル法

「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」のことを指します。市町村のみが全面的に容器包装ごみの処理責任を担うという従来の考え方を改め、消費者は分別排出、市町村は分別収集、事業者は再商品化しようという新たな役割分担のもとでリサイクルを推進しようとするものです。

## ら行

### リサイクル推進員

「八王子市廃棄物減量・再利用推進員」のことです。市と市民が協力し合い、ごみの減量・リサイクルを推進し、快適で住みよい八王子を作っていくために、平

成6年（1994年）にリサイクル推進員制度を設置しました。

町会等から推薦を受け、市と市民をつなぐ地域のリーダーとして、地域住民へごみの減量・リサイクルについての啓発、不法投棄の発見通報等の活動を行っています。

### リサイクル率

総資源化率ともいい、収集や持ち込まれたごみのうちどれだけ資源化されたかの割合で、 $[\text{資源物} + \text{資源集団回収} + \text{中間処理後資源物}] \div [\text{家庭系ごみ} + \text{事業系ごみ} + \text{資源物} + \text{資源集団回収}] \times 100$ で算出します。

### リペア

壊れてしまったり調子が悪くなってしまったモノ等の修理やメンテナンスをすることです。壊れてしまったモノを修理し大事に使うことで、環境負荷の低減に繋がります。

### リユース食器

主にイベント等で使用されることが多い、洗って再使用することができる食器です。イベント会場でリユース食器をレンタルすることで、使い捨て食器の廃棄や処理に係る環境負荷の低減に繋がります。

### リユースショップ

使わなくなったモノをリユース品として売買するお店です。まだ使えるモノ等を必要な人に引き渡すことで環境負荷の低減に繋がります。

### 臨時ごみ

引っ越しや遺品整理等、家庭から一時的多量に発生し、かつ緊急で処理しなければならないごみで、市による収集が困難なものです。本市では平成28年（2016年）6月に家庭系一般廃棄物の許可品目として加え、許可業者による収集運搬を開始しました。

### ローリングストック

普段から少し多めに日持ちのする食材や加工品を買っておき、日常的に食べてはその分だけ新しく買い足すことで、常にある程度の食料を家に備蓄しておく方法です。

## わ行

### ワンウェイプラスチック

リサイクルされずに、一度だけ使われて廃棄される使い捨てのプラスチック製品のことで、プラスチック資源循環法で特定プラスチック使用製品に指定された特定12品目（飲食業や宿泊業等で使用するフォーク、スプーン、テーブルナイフ、マドラー、飲料用ストロー、ヘアブラシ、くし、かみそり、シャワーキャップ、歯ブラシ、衣類用ハンガー、衣類用カバー）等があります。

これらの特定プラスチック使用製品を排出する事業者は、排出抑制や再利用等、使用の合理化に向けて取り組むことが求められています。

循環型都市八王子プラン（ごみ処理基本計画・清掃施設整備計画）

令和6年（2024年）3月

発行 八王子市

編集 八王子市資源循環部ごみ減量対策課

清掃施設整備課

〒192-8501

八王子市元本郷町三丁目24番1号

TEL 042-620-7256

FAX 042-626-4506

Email b480100@city.hachioji.tokyo.jp



市ホームページ

本冊子は再生紙を使用しています。

